

## 実績を証明する書類 作成上の注意

次の事項について、A4判1枚程度に取りまとめの上、証明書やスコアなどを添付の上、提出してください（様式任意。ワープロ・パソコン等による作成可。）。

なお、「自己推薦書」と記載内容が重複する部分があっても構いません。

また、ディスカバリー入試（実績評価型）第1次選抜の結果、ディスカバリー入試（一般型）に回った場合は、第1次選抜として、「自己推薦書」・「調査書」により書類審査を行います。

### (1) 活動実績について

対象となる実績に関して、活動の概要、活動の期間、大会等の参加・受賞実績を日本語で記入してください。活動への参加に予選や選抜過程が含まれる場合は、その内容（参加人数、選抜方法、選抜された人数など）も含めてください。関連するホームページがある場合は、URLを記入してください。

併せて、実績を証明する書類を添付してください（コピー可）。証明する書類がない場合は、高等学校等の教員に内容や所見等を記入、証明してもらっても構いません。

#### 対象となる実績

- ① 自然科学や人文社会科学に関する研究や英語運用能力を競う全国大会等での実績
- ② 海外でのフィールドワークや研修など、選考を経て参加した海外での活動体験
- ③ 世界各国の高校生が集まって開かれた国際会議・国際大会への参加
- ④ 海外の中等教育学校での6ヶ月以上の修学経験（保護者の海外勤務等により外国に所在し外国の教育制度に基づく学校教育機関で教育を受けた者を含む。）
- ⑤ 英語資格・検定試験について、「各資格・検定試験とCEFR\*との対照表」（文部科学省作成）に基づくCEFRのB2レベル相当もしくはそれ以上の成績
- ⑥ 国際バカロレアディプロマ・プログラムのカリキュラムの2年間の履修（修了見込みを含む。）
- ⑦ その他、上記に準ずる実績等

\* CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

### (2) 活動を経て学んだこと等について

(1)の活動実績に関して、活動を経てどのような学びがあり、グローバル・ディスカバリー・プログラムでの学びにどう繋げていくかなどを英語で記入してください。(300語程度)。【数え方：1語=1つの単語とし、“a”, “the”なども1語とする。】

### (3) 英語能力について

2018年4月以降に受検した英語資格・検定試験の成績証明書の写し（コピー）を提出してください。複数受検している場合、それぞれの成績証明書の写し（コピー）を提出することができます。

成績証明書の原本は、入学手続き時に提出してください。大学入試センターから認定された英語資格・検定試験の種類で、4技能を測る試験の成績証明書を提出してください。ただし、やむを得ない事情により成績証明書の写し（コピー）を提出できない場合は学務部入試課（電話番号：086-251-7192～7194, 7295）までお問い合わせください。なお、大

学入試センターから認定された英語資格・検定試験の種類は、大学入試センターの公式サイトを参照してください。

【URL】 [https://www.dnc.ac.jp/daigakunyugakukibousyagakuryokuhyoka\\_test/en\\_info\\_1.html](https://www.dnc.ac.jp/daigakunyugakukibousyagakuryokuhyoka_test/en_info_1.html)

上記に関わらず、以下の英語資格・検定試験の成績証明書については下記のとおりとします。

【GTEC】

2018年度受検者：「4技能オフィシャルスコア証明書」又は「4技能スコアレポート」のいずれか

2019年度受検者：「4技能オフィシャルスコア証明書」

【実用英語技能検定（英検）】

2018年4月以降に受検した4技能CBTの成績証明書に加え、従来から実施されている、一次試験の合格者のみが二次試験を受験する方式の成績証明書も有効とします。

上記の英語資格・検定試験以外の試験を受検した場合や英語能力に関するコンテスト入賞など特記事項があれば、日本語で記入してください。